

第7章 在宅医療の提供体制の整備の推進対策

【基本計画】

- 在宅医療サービスの効果的な提供のため、保健・医療・福祉の連携を一層推進します。
- かかりつけ医、かかりつけ歯科医及びかかりつけ薬局の普及定着を推進します。
- 在宅医療サービス、プライマリ・ケアについての知識の普及啓発に努めます。

【現状と課題】

現 状

1 在宅医療サービスの実施状況

- 当医療圏の在宅における要介護及び要支援者数は、平成26年度には17,749人へ増加すると推計されており、平成21年度に比べると26.4%の増加であり、今後、ますます在宅医療サービスのニーズは高まると考えられます。(表7-1)
- 医療保険、介護保険による在宅サービスを実施している医療機関は、表7-2のとおりです。
- 24時間体制で往診に対応する在宅療養支援診療所は、医療を必要とする高齢者が地域で安心して生活するために欠かせないものであり、平成22年10月1日現在における当医療圏の設置状況は、41か所となっています。また、歯科診療の面から支援する在宅療養支援歯科診療所は10か所となっています。(東海北陸厚生局調べ)
- かかりつけ医からの指示により看護師が定期的に家庭訪問し、高齢者や家族の健康状態と介護状況に応じて必要な看護サービスを提供する訪問看護ステーションは、平成22年10月1日現在で28か所となっています。
- 医療保険及び介護保険による在宅医療サービスの実施状況は表7-3、表7-4のとおりです。
- 歯科診療所の在宅医療サービスの実施状況は表7-5のとおりです。

2 在宅ケアの推進体制

- 半田市医師会においては、在宅ケア推進地域連絡協議会を平成4年から開催し、保健所、半田市、訪問看護ステーション、老人保健施設、歯科医師会などの関係機関と連携して、在宅ケアを推進しています。
- 歯科医師会(半田、東海市、知多郡)では、各市町と連携・協力してかかりつけ歯科医等により在宅歯科医療、在宅歯科衛生指導を実施し、在宅口腔ケアへ対応しています。

課 題

- 保健・医療・福祉における関係機関の連携による効果的なサービスを提供する必要があります。
- 在宅医療サービスを提供できる医療機関を増加させる必要があります。
- 在宅医療サービスの地域住民への知識の普及啓発が必要です。
- 昼夜を問わず患者の求めに応じて往診する在宅療養支援診療所と、かかりつけ医及び訪問看護ステーションなどの医療連携を図っていくことが必要です。

- 当医療圏にある国立長寿医療研究センターを中核にした地域活性化委員会では、国の「地方の元気再生事業」の指定を受け、平成 20 年度から平成 21 年度まで「長寿医療の先進地を目指す地域在宅医療ネットワーク構築事業」として、大府市、東浦町を中心とする地域の医療機関、行政、NPO等と協同して、高齢者の在宅医療、生活支援、社会参加支援のための様々なプログラムを実施しました。今後、この成果を踏まえ、高齢社会に向き合う社会的つながりの強化、地域住民のQOL向上やまちづくり体制の形成を目指し検討を進めていくこととしています。
- 歯科衛生士は平成 22 年 10 月 1 日現在、当医療圏内の 5 市 1 町に配置されていますが、4 町には配置されていません。
- 薬剤師会（知多、西知多、美浜南知多）では、平成 8 年度から在宅患者に対して、在宅患者訪問看護薬剤管理指導を実施しています。

- 歯科衛生士の配置を推進する必要があります。
- 在宅における服薬指導等を一層推進するため、かかりつけ薬局の普及定着が必要です。

3 プライマリ・ケアの推進

- 平成 2 年に比べ、プライマリ・ケアを担う一般診療所は 1.5 倍、歯科診療所は 1.3 倍に増加しています。（表 7-6）
- 半田市医師会、東海市医師会では、ホームページで各種の診療情報を提供しています。

- プライマリ・ケアについての地域住民への知識の普及啓発と、かかりつけ医、かかりつけ歯科医の普及定着を推進する必要があります。

【今後の方策】

- 在宅ケアの支援体制を整備するため、保健・医療・福祉の連携を推進します。
- 患者の求めに応じて往診する在宅療養支援診療所と、かかりつけ医及び訪問看護ステーション等の医療連携を図っていきます。
- 在宅医療サービス、プライマリ・ケアなどに関する情報の提供に努めます。

表 7-1 要介護者等の推計

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 26 年度
居 宅	14,038 人 (11.6%)	14,525 人 (11.7%)	15,029 人 (11.9%)	17,749 人 (12.5%)
施 設	3,173 人 (2.6%)	3,387 人 (2.7%)	3,610 人 (2.9%)	3,745 人 (2.6%)
計	17,211 人 (14.2%)	17,912 人 (14.4%)	18,639 人 (14.8%)	21,494 人 (15.2%)

資料：市町報告数値

() 内は、65 歳以上人口に占める割合

表7-2 在宅医療サービスの実施施設数

	病院	一般診療所	歯科診療所
医療保険による在宅医療サービス	17 (85.0%)	122 (40.0%)	141 (57.1%)
介護保険による在宅医療サービス	9 (45.0%)	49 (16.1%)	—

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成22年度調査）

注：％はシステムに掲載している医療機関に対する実施率

表7-3 在宅医療サービス（医療保険）の実施状況

	往診	在宅時 医学総合 管理	在宅患者 訪問診療	在宅患者 訪問看護・ 指導	訪問看護ステーションへ 指示書交付
病院	6 (30.0%)	3 (15.0%)	6 (30.0%)	9 (45.0%)	14 (70.0%)
一般診療所	114 (37.4%)	48 (15.7%)	78 (25.6%)	34 (11.1%)	74 (24.3%)

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成22年度調査）

注：％はシステムに掲載している医療機関に対する実施率

表7-4 在宅医療サービス（介護保険）の実施状況

	居宅療養管理 指導 (医師)	訪問 看護	訪問リハビリ テーション
病院	5 (25.0%)	7 (35.0%)	6 (30.0%)
一般診療所	34 (11.1%)	13 (4.3%)	12 (3.9%)

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成22年度調査）

注：％はシステムに掲載している医療機関に対する実施率

表7-5 在宅医療サービスの実施状況

(平成21年12月末現在)

	訪問診療 (患者)	訪問診療 (患者以外)	訪問歯科衛生 指導	居宅療養管理 指導 (歯科医師)	居宅療養管理 指導 (歯科衛生士)
	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
歯科診療所	51 (30.4%)	24 (14.3%)	17 (10.1%)	13 (7.7%)	10 (6.0%)

資料：歯科医療実態調査（愛知県健康福祉部）

注：（ ）は回答のあった施設数に対する割合

表7-6 一般診療所・歯科診療所数の推移

(各年10月1日現在)

	平成2年	平成7年	平成11年	平成16年	平成22年
一般診療所	248	264	288	326	365
歯科診療所	200	222	234	245	253

資料：病院名簿（愛知県健康福祉部）

第8章 病診連携等推進対策

【基本計画】

- 病院と診療所の医療機能の分担を一層進め、病診連携を推進します。
- 病院の開放化、高度医療機器の共同利用、研修会の開放などに努めます。

【現状と課題】

現 状

1 医療圏における病診連携の現状

- 愛知県医療機能情報公表システム（平成 22 年度調査）によると、地域医療連携体制に関する窓口を実施している病院は当医療圏内 20 病院中 12 病院となっています。
- 半田市医師会では、市立半田病院の内科、**外科**の医師と合同の勉強会を、知多郡医師会では支部単位で関係の医療機関と合同の勉強会を行っています。
- 地域の歯科医師会（半田、東海市、知多郡）では、当医療圏内の 6 病院（国立長寿医療研究センター、市立半田病院、東海市民病院、知多市民病院、県あいち小児医療センター、常滑市民病院）の歯科及び歯科口腔外科と刈谷豊田総合病院、碧南市民病院の歯科口腔外科と歯科連絡協議会を開催しています。
- 半田市医師会では、平成 15 年度から平成 17 年度まで厚生労働省の「医療機能分化推進事業」を実施し、その事業成果に基づき、市立半田病院、半田市医師会健康管理センターとの連携による検診データの共有化を行い、医療の質の向上及び医療提供体制の効率化を図っています。

2 地域医療支援病院

- 当医療圏には、国立長寿医療研究センターと公的病院が6施設ありますが、病診連携システムの中核となる地域医療支援病院はありません。

課 題

- 地域の医療機関の連携強化により、病院と診療所の機能分担を推進し、質の高い医療を効率的に提供するために、病床の開放、高度医療機器の共同利用や地域の開業医等に対する症例検討会の研修会の開放などを推進する必要があります。
- 歯科口腔外科を有する病院と歯科診療所の連携を今後も推進していく必要があります。
- 病診連携のメリットについて、知識の普及啓発を一層進める必要があります。
- 地域医療支援病院の整備について検討する必要があります。

【今後の方策】

- 病院と診療所の機能分担と相互連携を一層推進します。
- 病院施設・設備の開放・共同利用、地域の開業医等に対する症例検討会の研修会の開放など、地域の医療機関が連携する仕組みづくりを推進します。

第9章 高齢者保健医療福祉対策

【基本計画】

- 地域の保健・医療・福祉関係機関が緊密に連携し、「高齢者保健福祉計画」に基づく介護予防対策の推進と「健康増進計画」に基づく生活習慣病予防対策に努めます。
- 市町介護保険事業計画に沿った介護保険施設等の計画的な整備を進めます。

【現状と課題】

現 状

- 1 高齢者の現況
 - 当医療圏の老年人口の割合は、**20.2%**（平成**22**年10月1日現在）で、県平均と同率ですが、高齢化が徐々に進んでいます。（第1章 表1-3-2）
 - 介護保険の認定状況は、軽度である要支援、要介護1の認定を受けた者の増加率が高くなっています。（表9-1）
- 2 保健対策
 - 保健・医療・福祉関係機関の連携を図るため、保健所において保健医療福祉サービス調整推進会議を開催しています。
 - 当医療圏の5市5町では健康増進計画（健康日本21市町計画）を策定しています。
 - 当医療圏には、知多地域産業保健センターがあり、小規模事業所を対象に保健指導、健康相談を行っています。
- 3 医療対策
 - 療養病床の整備状況は、表9-2のとおりです。
 - 療養病床の自域依存率は**66.7%**で他の医療圏に比べやや低くなっています。（表9-3）
 - 当医療圏の在宅における要介護及び要支援者数は、平成26年度には17,749人へ増加すると推計されており、平成21年度に比べると26.4%の増加であり、今後、ますます在宅医療サービスのニーズは高まると考えられます。（第7章 表7-1）
 - 医療保険及び介護保険による在宅医療サービスを実施している医療機関及び実施状況は、第7章 表7-2、7-3、7-4、7-5のとおりです。
 - 24時間体制で往診に対応する在宅療養支援診療所は、医療を必要とする高齢者が地域で安心して生活するために欠かせないものであり、平成**22年10月1日**現在における当医療圏の設置状況は、41か所となっています。また、歯科診療の面から支援する在宅療養支援歯科診療所は**10**か所となっています。（東海北陸厚生局調べ）

課 題

- 健康で自立した生活が送れるように生活習慣病の予防とともに介護予防のための取組みの強化が必要です。
- 保健・医療・福祉関係機関の連携により、生活機能維持を重点とした介護予防対策を一層推進する必要があります。
- 健康寿命の延伸、日常生活の質（QOL）の向上などについて、関係機関・団体等との連携により健康増進計画を推進する必要があります。
- 介護療養型医療施設については、療養病床の再編成に伴い、平成23年度末に廃止されることが決まっているため、円滑に介護保険施設等に転換できるよう、支援する必要があります。（今後必要に応じて修正）
- 増大する在宅医療サービスの需要に対応するため、在宅医療を提供する医療機関の増加を図る必要があります。
- 昼夜を問わず患者の求めに応じて往診する在宅療養支援診療所を中心に、かかりつけ医や訪問看護ステーションなどの医療連携を図っていくことが必要です。

- 訪問看護ステーションについては、当医療圏内に 28 か所設置（平成 22 年 10 月 1 日現在）されており、全地域をカバーしています。（表 9-4）
- 当医療圏には、高齢者のための医療を確立・普及するための高度専門医療機関である国立長寿医療センターが平成 16 年 3 月に設置されています。（平成 22 年 4 月 1 日、国立長寿医療研究センターに名称変更）

4 福祉対策

- 平成 18 年度から、県内全市町村において地域包括支援センターが設置され、予防給付、地域支援事業が実施されています。
平成 22 年 10 月 1 日現在の地域包括支援センター数は当医療圏では 13 か所となっています。
また、平成 23 年度の介護老人福祉施設の整備目標は 1,948 人、介護老人保健施設の整備目標は 1,527 人です。（表 9-4）
- 居宅介護支援事業所では、介護支援専門員により本人、家族のニーズを勘案して、介護サービス等の種類や内容について「介護サービス計画」（ケアプラン）を作成しています。
- 各市町と介護支援専門員などの関係者が、支援の必要な高齢者のために密接な連携を図り、総合的な調整を行っています。
- 当医療圏にある、あいち健康プラザに平成 22 年度から「あいち介護予防支援センター」が開設され、介護予防に関する人材育成や市町村等への技術的支援、住民への普及啓発活動等を総合的に実施しています。

5 認知症高齢者対策

- 老年人口の増加に伴い、寝たきりや認知症等の要介護となる高齢者の増加は避けられないため、各市町では健康教育、健康相談を実施し予防対策をしています。
- 当医療圏には、中程度の認知症高齢者が共同生活を送りながら、日常生活の介護や機能訓練を受ける認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）が 37 施設（平成 22 年 10 月 1 日現在）あります。
- 大府病院では、重度認知症疾患デイケアセンターを開設しています。

- 高齢者の身近な相談窓口として、地域包括支援センターの充実が望まれます。

- 市町介護保険事業計画に沿った介護保険施設等の計画的な整備が必要です。

- 居宅介護支援事業者、介護サービス事業者等が相互の連携を図り、地域のケアマネジメントが有効に機能するよう、市町、県の一層の指導、支援が必要です。

【今後の方策】

- 地域の保健・医療・福祉関係機関が緊密に連携し、「高齢者保健福祉計画」に基づく介護予防対策の推進と「健康増進計画」に基づく生活習慣病予防対策に努めます。
- 真に施設サービスが必要な者が必要な時に利用できるように市町介護保険事業計画に沿った介護保険施設等の計画的な整備を進めます。

表 9-1 介護保険認定者数の推移

	要支援 (伸び率%)	要介護 1 (伸び率%)	要介護 2 (伸び率%)	要介護 3 (伸び率%)	要介護 4 (伸び率%)	要介護 5 (伸び率%)	計 (伸び率%)
平成 12	830	1,517	1,305	1,162	1,271	922	7,007
平成 22	(要支援 1) 1,858 (223.9)	(要支援 2) 2,060 (要介護 1) 3,413 計 5,473 (360.8)	3,238 (248.1)	2,603 (224.0)	2,262 (178.0)	1,944 (210.8)	17,378 (248.0)

資料：介護保険事業状況報告（厚生労働省）、平成 22 年は暫定値
各年 4 月末の状況

表 9-2 療養病床の整備状況 平成 22 年 9 月 30 日現在

施設数	総数 (床)	医療型 (床)	介護型 (床)
10	432	287	145

資料：愛知県健康福祉部

表 9-3 自域依存率 (平成 21 年 6 月 30 日)

	名古屋	海部	尾張 中部	尾張 東部	尾張 西部	尾張 北部	知多 半島	西三河 北 部	西三河 南部東	西三河 南部西	東三河 北 部	東三河 南 部
一般 病床	88.5	58.9	23.4	71.3	81.7	79.7	68.6	79.1	72.6	82.2	47.2	91.4
療養 病床	82.0	72.4	75.8	65.6	77.0	85.0	66.7	76.0	86.0	84.9	69.1	99.0
合計	86.8	63.1	35.9	69.8	80.7	81.1	68.3	78.3	77.3	83.0	57.6	94.7

資料：平成 21 年度患者一日実態調査（愛知県健康福祉部）

注 1：自域依存率＝自医療圏入院患者数/自医療圏に住所地がある全患者数×100

表 9-4 介護保険施設の整備目標及び整備状況

介護老人福祉施設			介護老人保健施設			訪問看護ステーション
整備目標 (人)	整備状況		整備目標 (人)	整備状況		施設数
	施設数	入所定員		施設数	入所定員	
1,948	19	1,759	1,527	14	1,547	28

注：整備目標は平成 23 年度、整備状況は平成 22 年 9 月 30 日現在
(ただし、訪問看護ステーションは平成 22 年 10 月 1 日現在)

【基本計画】

- 80歳で20本の歯を保つ「8020運動」の目標達成のため、生涯を通じた歯の健康づくり対策を推進します。
- かかりつけ歯科医の機能を充実させ、住民が口腔の定期管理ができる体制整備を図ります。
- 全身疾患と歯科疾患の関係を広く周知・啓発するとともに、関係機関のネットワーク構築を図り、有病者の歯科医療体制の整備のため医科歯科医療連携の推進と、障害者や要介護者等の口腔管理を含めた歯科医療の確保に努めます。
- 歯科保健に関する情報の収集・分析・評価を行い、地域の課題と対策を検討するとともに、市町健康増進計画推進の支援を行い、「健康日本21あいち計画」の目標達成を目指します。

【現状と課題】

現 状	課 題
<p>1 歯科医療対策</p> <p>(1) かかりつけ歯科医の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健所調査（平成21年度）によると、かかりつけ歯科医を持つ者の割合は66.6%ですが、40歳未満では55.0%、40歳以上では81.5%で年代によってもその割合は異なります。 <p>(2) 病診連携、診診連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科診療所と他医療機関との連携の実施率は、医科診療所は13.1%、特定機能病院は26.8%、他の病院では51.2%であり、連携の実施率は低い状況にあります。（表10-1） ○ 平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）によると、調査対象期間に歯科診療所において糖尿病医療機関と連携があったのは6.0%、該当患者がなかったのは42.3%、連携がなかったのは40.5%です。また、がん医療及び療養支援を行う医療機関と連携があったのは6.5%、該当患者がなかったのは53.6%、連携がなかったのは30.4%です。 ○ 糖尿病教育入院、外来者糖尿病教室を実施している病院のうち、歯科・歯周病に関する内容を導入しているのは4病院です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ かかりつけ歯科医機能について、十分啓発し、全ての年代で住民が口腔の定期管理ができるよう積極的に推奨していく必要があります。 ○ 医科歯科機能連携の充実を図るため、関係者間の情報の共有化と相互理解を深めていく必要があります。 ○ 「医科と歯科」「歯科と歯科」の病診連携・診診連携を進め、糖尿病やがん等の治療効果が一層期待できるシステムを確立する必要があります。 ○ 糖尿病と歯周病の関係を踏まえ、病院における糖尿病教育プログラムに歯科に関する内容を充実させる必要があります。 ○ 糖尿病（予備群含）を有する者の増加に伴い、歯科診療所における歯周病患者への指導、管理を充実させる必要があります。

○ 高齢者の増加に伴い、摂食・嚥下に対する医療供給体制の確保が必要ですが、平成 21 年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）によると、調査対象期間に歯科診療所において脳卒中医療及び療養支援を行う医療機関と連携があったのは 8.9%、該当患者がなかったのは 49.4%、連携がなかったのは 31.0%です。また、摂食機能療法を実施したのは 2.4%、該当患者がなかったのは 47.6%、実施しなかったのは 37.5%です。

(3) 在宅・障害児（者）歯科医療体制

○ 在宅療養児（者）等要介護者への歯科診療について、訪問歯科診療の実施率は、患者の自宅が 30.4%、施設等が 14.3%、その他介護保険の居宅療養管理指導（歯科医師によるもの）が、7.7%です。（表 10-2）

○ 障害児（者）への歯科診療については、半田歯科医療センター及び 103 か所（61.3%）の歯科診療所に対応し、社会福祉施設等の通所者・入所者に対する歯科健診・指導は、地区歯科医師会や歯科衛生士会の活動や市町等の支援により対応しています。（表 10-1）

(4) 救急歯科医療の対応

○ 第 1 次救急医療体制に参加している歯科診療所は、63 か所（37.5%）、夜間・休日救急対応をしている歯科診療所は 38 か所（22.6%）です。（表 10-1）

2 歯科保健対策

(1) ライフステージに応じた歯科保健対策

○ 「80 歳歯の健康づくり実態調査」（常滑市、南知多町）による 80 歳で 20 本以上歯を持っている人の割合は、平成 17 年度は 28.3%でしたが平成 21 年度 53.6%となっています。

○ 平成 21 年度愛知県母子健康診査マニュアル報告によると、幼児のむし歯経験者率は 1 歳 6 か月児で 1.1%、3 歳児では 14.1%で、それぞれ、県平均 1.8%、16.3%と比べ、良い傾向にあります。（表 10-3）

○ 2 歳児を対象とした歯科健康診査事業、フッ化物歯面塗布がすべての市町で実施され、乳児から幼児期までの一貫した健診管理体制が整備されています。

○ う蝕対策支援事業実施報告によると、平成 21 年度末現在、永久歯むし歯対策として、集団フッ化物洗口が 5 市 4 町において、幼稚園・保育

○ 医療機関、保健所、市町等は摂食・嚥下について、住民に対する普及啓発と医療供給体制の確保が必要です。

○ 要介護者への訪問歯科診療および居宅療養管理指導の充実した展開ができるよう、在宅療養支援歯科診療所の増加を図るなど体制整備を進めていく必要があります。

○ 口腔ケアの実践が気道感染予防につながるなど、口腔ケアの重要性を広く啓発し、在宅療養児（者）等の歯科診療、及び口腔ケアに対する支援が必要です。

○ 保健所や市町は必要に応じ、社会福祉施設等へ歯科健康診査、歯科治療や歯科健康教育が実施できるようサポートする必要があります。

○ 休日・夜間等に救急対応ができる歯科医療機関を住民が検索できるようホームページなどの活用について周知していく必要があります。

○ 8020 を達成できるよう、ライフステージに合わせた歯科保健対策を推進する必要があります。

○ 愛知県母子健康診査マニュアルに基づき、市町の特性にあわせた効果的な歯科健康診査、保健指導を行う必要があります。保健所は市町と協働して事業評価に努める必要があります。

○ 保健所は、永久歯のむし歯の減少を目指した幼稚園・保育所（園）、小学校等におけるフッ化物の応用を推進し、

- 所(園) 35施設、小学校 21 校で実施されています。
- フッ化物洗口の実施とあわせた学童期の歯科保健対策の取組により、永久歯むし歯が半減している地域があります。
 - 成人に対して、歯周病対策として節目歯科健康診査、相談事業が全市町で実施されていますが、受診率は低い傾向にあります。(表 10-4)
 - 喫煙が歯周病に影響することを知っている者は 25.1% (平成 21 年度生活習慣関連調査) と低く、十分周知がされていません。
 - 高齢者を対象に、介護予防の視点で口腔機能向上の取組が全市町で実施されていますが、地域により実施状況は異なります。
- (2) 地域歯科保健情報の把握・管理と人材育成
- 保健所は、地域歯科保健データを収集・分析し、それらの結果をもとに事業評価を行い、関係機関との情報交換をしています。
 - **平成 22 年 10 月 1 日現在**、市町における歯科衛生士の配置状況は、5 市 1 町で配置されていますが 4 町では未配置です。
 - 保健所は、地域の歯科保健の向上を図るため、市町歯科保健関係者、施設関係者等を対象にした研修会を開催しています。
- 実施施設に対しては、むし歯予防(抑制)効果の評価を支援する必要があります。
- 市町や保健所は、住民が歯・口の健康に関心を持つことができるよう、効果的な啓発に努め、節目歯科健康診査受診者の増加を図る必要があります。
 - 「糖尿病と歯周病の関係」や「喫煙の歯周病に対する影響」などについて、保健医療関係者及び住民に対して知識の普及啓発が必要です。
 - 包括支援センター等と連携を図り、口腔ケアや口腔機能向上に関する知識の普及啓発を積極的に展開する必要があります。
 - 市町、地区歯科医師会等関係者間で、歯科保健データの分析、事業評価の結果に基づく地域の実態や課題を共有する必要があります。
 - 地域の歯科保健医療対策の推進を図る上で歯科衛生士の充足が必要です。
 - 地域の課題にあわせた研修を、保健医療関係者、職域等関係者を対象に行い、人材育成を図る必要があります。

【今後の方策】

- 8020 運動推進連絡協議会等を活用し、健康日本 2 1 あいち計画に提示されている目標値の達成を目指して、ライフステージに沿ったむし歯対策および歯周病対策を推進し、8020 達成を目指します。
- かかりつけ歯科医を持ち、定期的な健康管理ができるような環境整備に努めるとともに、住民に対するポピュレーションアプローチに努めます。
- 有病者の歯周病対策については、関係者が歯科医療についての機能連携を十分に理解する必要があります。地域における医療の供給体制について関係者が情報を共有できる環境整備を図ります。
- 障害児(者)や要介護者等の医療提供体制を整備するとともに、歯科疾患の重症化を予防し、口から食べることを支援する口腔ケアサービスが提供されるよう環境整備を図ります。
- 保健所は、地域における歯科保健医療対策が推進されるよう、データの収集、分析、評価、還元を行い、地域の課題を明確化し、その対応策を検討していきます。また、人材育成など市町の求めに応じた支援を積極的に展開していきます。

表 10-1 歯科診療所の歯科医療提供状況

市町名	診療所数	回収数 (件)	障害児(者) 治療実施の 歯科診療所	第1次 救急対応	夜間・ 休日対応	1か所以上と 連携している 歯科診療所	連携している		
							特定機 能病院	他の病院	診療所
半田市	52	39	64.1%	66.7%	17.9%	71.8%	28.2%	48.7%	5.1%
常滑市	21	15	73.3%	0	33.3%	66.7%	6.7%	53.3%	13.3%
東海市	44	27	63.0%	11.1%	29.6%	92.6%	37.0%	63.0%	33.3%
大府市	34	25	64.0%	72.0%	24.0%	76.0%	40.0%	52.0%	8.0%
知多市	35	18	44.4%	0	22.2%	61.1%	22.2%	38.9%	11.1%
阿久比町	10	8	75.0%	75.0%	25.0%	75.0%	12.5%	62.5%	12.5%
東浦町	18	13	61.5%	46.2%	15.4%	61.5%	7.7%	61.5%	15.4%
南知多町	12	6	16.7%	0	33.3%	16.7%	16.7%	0	16.7%
美浜町	11	6	66.7%	0	16.7%	100.0%	16.7%	83.3%	16.7%
武豊町	17	11	63.6%	36.4%	9.1%	72.7%	45.5%	36.4%	0
医療圏計	254	168	61.3%	37.5%	22.6%	72.6%	26.8%	51.2%	13.1%
愛知県	3,658	2,333	63.5%	56.2%	27.1%	78.0%	43.2%	47.2%	12.7%

資料：平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）

注：表中の％は回収件数に対する割合

表 10-2 在宅歯科医療サービス状況

市町名	歯科訪問診療実施 (患者)	歯科訪問診療実施 (患者以外)	居宅療養管理指導 (歯科医師)	居宅療養管理指導 (歯科衛生士)
半田市	25.6%	5.1%	7.7%	5.1%
常滑市	53.3%	33.3%	0	0
東海市	40.7%	14.8%	3.7%	7.4%
大府市	16.0%	16.0%	8.0%	8.0%
知多市	38.9%	16.7%	11.1%	5.6%
阿久比町	25.0%	12.5%	0	0
東浦町	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%
南知多町	33.3%	16.7%	16.7%	0
美浜町	0	16.7%	0	0
武豊町	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%
医療圏計	30.4%	14.3%	7.7%	6.0%
愛知県	29.7%	19.5%	10.5%	4.9%

資料：平成21年度愛知県歯科医療機能連携実態調査（愛知県健康福祉部）

注：表中の％は、回収件数に対する割合

表 10-3 幼児・学童のむし歯状況 (平成 21 年度)

市町名	乳 歯		永 久 歯
	むし歯経験者率 (%)		12 歳児の一人あたりむし歯数 (本)
	1 歳 6 か月児	3 歳児	
半田市	1.31	15.4	1.16
常滑市	1.28	13.9	0.81
東海市	1.39	14.8	1.49
大府市	0.72	12.0	0.94
知多市	0.88	13.7	1.37
阿久比町	0.46	12.2	0.42
東浦町	0.68	10.2	0.58
南知多町	2.65	26.7	1.36
美浜町	0.00	22.3	1.35
武豊町	1.74	11.5	1.00
医療圏計	1.10	14.1	1.10
愛知県	1.81	16.3	0.96

資料：乳歯の値は母子健康診査マニュアル報告、永久歯の値は地域歯科保健業務状況報告 (愛知県健康福祉部)

注：愛知県の乳歯の値は名古屋市を除く

表 10-4 歯周疾患検診状況

市町名	40 歳		50 歳		60 歳		70 歳	
	受診率 (%)	CPIコード3以上の者の割合 (%)	受診率 (%)	CPIコード3以上の者の割合 (%)	受診率 (%)	CPIコード3以上の者の割合 (%)	受診率 (%)	CPIコード3以上の者の割合 (%)
半田市	7.2	22.2	7.1	27.9	7.9	30.4	8.2	33.7
常滑市	16.7	21.9	18.9	29.7	21.4	58.0	17.5	39.5
東海市	4.5	41.4	5.7	49.0	7.1	60.7	12.1	65.3
大府市	9.0	15.5	7.8	18.4	7.8	35.0	9.5	30.9
知多市	7.0	28.7	7.0	27.6	6.4	33.1	12.3	46.6
阿久比町	5.2	14.5	7.3	23.9	7.3	25.9	10.3	43.2
東浦町	18.3	33.9	15.4	40.0	24.6	52.6	23.6	51.5
南知多町	5.5	9.1	1.8	35.7	1.4	26.7	0.4	66.7
美浜町	1.4	30.8	0.2	50.0	1.4	47.1	0.5	50.0
武豊町	5.5	33.9	6.0	35.4	5.4	41.9	9.2	51.3
医療圏計	7.9	25.6	7.8	30.8	9.3	45.0	11.4	47.0
愛知県	9.1	28.0	9.1	37.5	8.2	44.0	10.2	49.8

資料：老人保健法及び健康増進法に基づく歯周疾患検診実施状況報告

注 1：表中の値は、平成 19 年度、20 年度、21 年度の平均値

注 2：愛知県の値は平成 21 年度

注 3：CPI (Community Periodontal Index) 地域における歯周疾患の実態を把握する指標

コード 0；健全

コード 1；出血あり

コード 2；歯石あり

コード 3；4～5 mm に達する深さの歯周ポケットがあるもの

コード 4；6 mm をこえる深さの歯周ポケットがあるもの

第 1 1 章 薬局の機能強化等推進対策

第 1 節 薬局の機能推進対策

【基本計画】

- 薬局が「医療提供施設」として位置づけられたことから、地域における医療連携体制の中で、調剤を中心とした医薬品や医療・衛生材料等の提供拠点の役割をこれまで以上に担う必要があります。
- 薬局が薬局機能に関する情報を積極的に開示するよう推進します。
- 薬局における安全管理体制等の整備の推進を図っていきます。
- 一般用医薬品（特に薬剤師のみが扱うことができる第 1 類医薬品）が適正に選択され、正しく使用されるよう情報提供と相談体制の向上を図ります。

【現状と課題】

現 状

- 休日・夜間における調剤による医薬品等の供給体制の構築が、地域により格差が大きく十分とは言えません。
- 当医療圏の麻薬小売業者数は、平成 17 年度末では 97 件、平成 21 年度末では 120 件と増加はしましたが、在宅医療に関わる薬局の環境整備が十分でないのが現状です。
- 薬局における安全管理指針及び医薬品安全使用・管理のための業務手順書が作成されていますが、従事者に対する周知徹底が十分ではありません。
- 薬局では、医薬品の副作用・有効性等の消費者からの相談に応じています。
- 地域に密着した「かかりつけ薬局」や「健康介護まちかど相談薬局」の定着が十分とは言えません。
- お薬手帳の普及が十分とは言えません。
- 県薬剤師会では禁煙をしたいと思っている人を応援する禁煙サポート薬剤師の養成研修を行い禁煙サポート薬局の推進を図っています。
当医療圏では平成 22 年 10 月 1 日現在、禁煙サポート薬局は 31 薬局あります。
- 平成 20 年 3 月から稼働している「愛知県医療機能情報公表システム」において、薬局が薬局機能に関する情報を開示しています。

課 題

- 薬局が連携して休日・夜間における調剤による医薬品等の供給体制を構築する必要があります。
- 院外処方せんの発行及び受入については、医療機関と薬局との密接な連携が不可欠です。
- 終末期医療への貢献として、麻薬小売業者免許の取得を推進し、医療用麻薬の供給をしやすい環境整備が必要です。
- 安全管理体制等の整備を支援する必要があります。
- 面分業の推進とともに、地域における医薬品の相談役としての「かかりつけ薬局」や「健康介護まちかど相談薬局」の育成が必要です。
- 研修会等を実施し、さらに禁煙サポート薬局を拡大していくことが必要です。
- 薬局はシステムへの登録、情報更新を通して、薬局機能に関する情報を積極的に開示していく必要があります。

【今後の方策】

- 薬局が、医療計画を通じた医療連携体制へ積極的に参画されるよう支援していきます。
- 薬局が、輪番制・定点制等の方法による休日・夜間における医薬品等の供給を行ったり、また、休日・夜間の連絡先を店外に明示する体制整備の促進を図っていきます。
- 医薬品市販後安全対策の一つとして、薬局から国への副作用情報等の報告が積極的に実施できるよう推進します。
- 安全管理指針及び安全使用・管理のための業務手順書の定着を促進し、薬局の資質の向上を図るとともに安全管理体制を構築していきます。
- 公衆衛生・地域医療の拠点となる「かかりつけ薬局」や「健康介護まちかど相談薬局」を育成し、県民への普及、定着を図ります。
- 消費者向け講習会の開催やお薬手帳及び各種媒体を通じて、医薬品の適正使用に関する啓発活動に積極的に取り組みます。
- 健康日本 21 あいち計画を推進する取り組みの一つとして、禁煙をしたいと思っている人達を応援する禁煙サポート薬剤師を養成して禁煙サポート薬局の拡大を図っていきます。
- 患者・消費者のプライバシーが確保される相談環境の整備促進を図っていきます。
- 終末期医療への貢献として、在宅医療への取組み等を支援します。
- 薬局が、「愛知県医療機能情報公表システム」に積極的に情報を開示していくよう周知していきます。

第2節 医薬分業の推進対策

【基本計画】

- 「かかりつけ薬局」を育成し、住民に普及、定着を図ります。
- 「愛知県医薬分業推進基本方針」(平成18年3月31日改定施行)に従い、医薬分業率を60%まで引き上げることを目標とします。
- 保健所は、地域医師会、歯科医師会、薬剤師会と相互に協力し、より質の高い医薬分業を推進します。

【現状と課題】

現 状

- 医薬分業率は、年々高くなってきていますが、全国平均に比べると低い値となっています。(表11-2-1)
- 2次医療圏別医薬分業の状況は、当医療圏は県内12医療圏中8番目に位置し、分業率は全県55.2%に対して、54.6%となっています。(表11-2-2)
- 薬剤師の資質向上を図るため、知多・西知多・美浜南知多の各薬剤師会では、定期研修会、医療機関及び県薬剤師会主催の研修会に参加しています。
- 半田、知多保健所では、調剤過誤等の不適切な事例の発生を防止するため、処方された医薬品のダブルチェック、服薬指導の徹底を指導しています。
また、住民からの医薬品についての苦情相談に応え、医薬分業への理解、定着を図っています。

課 題

- 医薬分業率をさらに引き上げていくことが必要です。
- 院外処方せんの発行及び受入、また、患者の薬物療法に関する情報については、医療機関と薬局との密接な連携が不可欠です。
- 面分業の推進とともに、地域における医薬品の相談役としての「かかりつけ薬局」の育成が必要です。
- 薬剤師には、薬学の知識技術のほか、新しい医学についても研鑽が求められています。
- 調剤過誤等、医薬分業における事故防止対策が必要です。
- 医薬品の重複投与等の事故を防止するため、他の医療機関における投薬情報を把握する必要があります。
- 医薬分業のメリットについても、広く住民に理解を求める必要があります。

【今後の方策】

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関と相互に連携し、調剤過誤の防止等を含めたより質の高い医薬分業を推進します。
- 患者の薬物療法に関する情報をかかりつけ薬局と病院薬局の間で引き継ぐいわゆる「薬薬連携」を推進することにより在宅医療を支援していきます。
- 医薬分業をはじめ公衆衛生・地域医療の拠点となる「かかりつけ薬局」を育成し、住民に普及、定着を図ります。
- 「愛知県医薬分業推進基本方針」に従い医薬分業を推進し、医薬分業率が早期に60%を超えることを目標とします。

表 11-2-1 医薬分業率の推移

(単位 %)

	17年3月	18年3月	19年3月	20年3月	21年3月	22年3月
知多半島	46.9	50.9	51.8	53.5	53.4	54.6
全 県	42.3	43.7	45.7	47.3	49.4	51.6
全 国 (注)	53.8	54.1	55.8	57.2	59.1	60.7

資料：愛知県社会保険診療報酬支払基金及び愛知県後期高齢者医療広域連合調べ（社会保険分（老保を含む）及び国保分から推計）

注：日本薬剤師会調べ（各年度の全保険(社保+国保+老保)から推計）

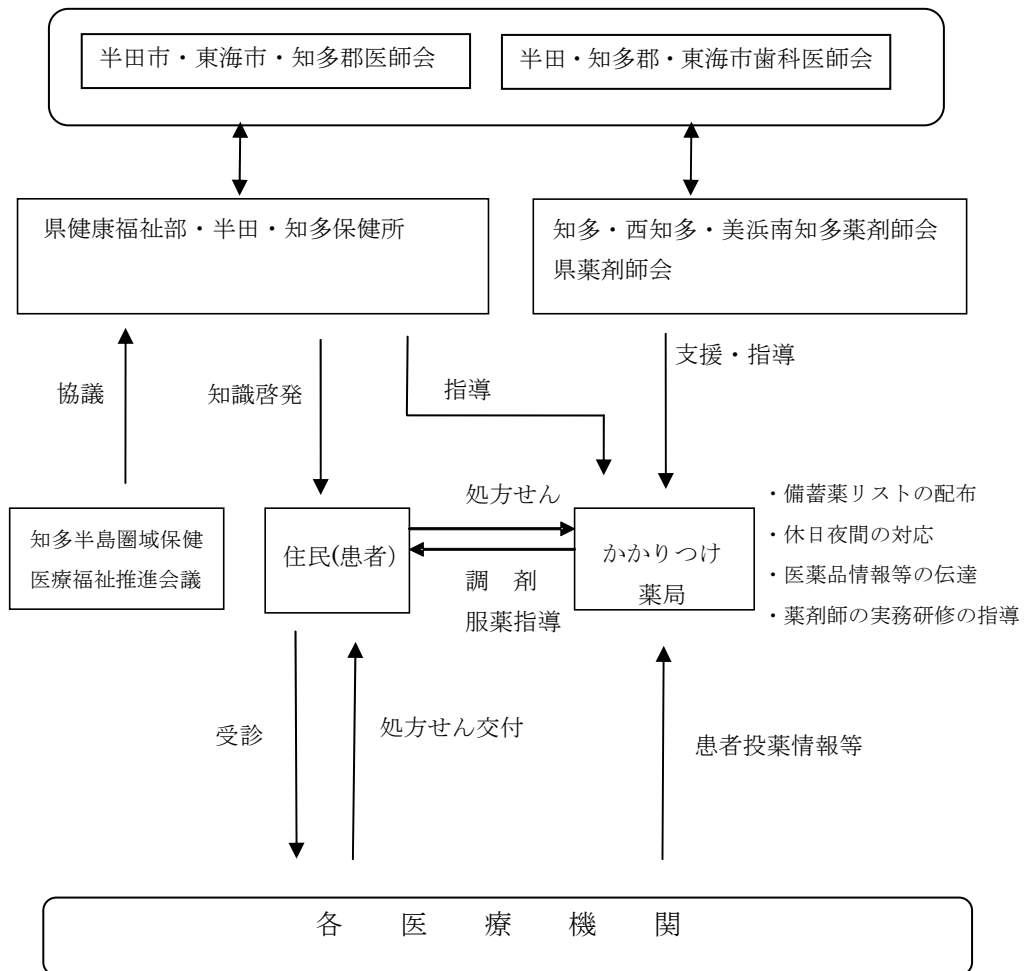
表11-2-2 2次医療圏別医薬分業の状況

(単位 %)

知多半島	名古屋	海 部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	全 県
54.6	52.8	63.3	66.4	56.4	61.3	55.2
尾張北部	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	
58.6	57.0	51.4	51.2	31.6	57.0	

注：愛知県社会保険診療報酬支払基金及び愛知県後期高齢者医療広域連合調べ（平成 22 年 3 月の社会保険分及び国保分から推計）

医薬分業の推進対策の体系図



<解説>

- 当医療圏における医薬分業は、半田市医師会、東海市医師会、知多郡医師会、半田歯科医師会、知多郡歯科医師会、東海市歯科医師会、知多薬剤師会、西知多薬剤師会、美浜南知多薬剤師会が中心となり、半田保健所、知多保健所等を含む各機関が密接に連携し、推進します。
- 住民に対する医薬分業のメリット等の啓発は、半田・知多両保健所が中心となって実施します。
- 知多・西知多・美浜南知多薬剤師会は各薬局を支援・指導し、新しい知識・技術の修得、調剤過誤等の事故防止を図り、また、地域における医薬品の提供・相談役として住民に信頼される「かかりつけ薬局」の育成に努めます。

第1節 健康危機管理対策

【基本計画】

- 医療機関を始め関係機関との連携を強化し、健康危機の発生を未然に防止できるよう平常時における情報収集及び情報分析の体制整備を図ります。
- 健康危機発生の際の関係機関との連携を確実なものとし、広域的な支援体制の充実強化を図ります。
- 新型インフルエンザに関する正しい知識、発生時の対応について住民や事業者への普及啓発を行います。
- 原因の特定が困難な健康危機事例にも対応できる体制の整備に努めます。
- 住民への健康危機管理における情報の普及啓発活動を推進します。

【現状と課題】

現 状

- 1 健康危機管理体制の整備
 - 愛知県健康福祉部健康危機管理対策基本指針に基づき、健康危機による健康被害の未然防止及び健康危機発生時の対応等について、半田保健所及び知多保健所では、健康危機管理調整会議を設置し、定期的を開催することにより、管内関係機関の円滑な調整を図っています。
 - 保健所職員に対する研修を定期的を実施しています。
 - 健康危機管理手引書を作成し、関係機関に配備しています。
 - 感染症、新型インフルエンザ等に関する情報を関係機関に速やかに提供し、共有を図っています。
 - 第二種感染症指定医療機関として厚生連知多厚生病院が指定され、感染症病床を6床確保しています。
- 2 平常時の対応
 - 公衆衛生の各種規制法令に基づき通常の監視指導を行っています。
 - 広範囲にわたる健康危機の発生が予測される施設に対しては、広域機動班による監視指導を行っています。
 - 発生が予測される健康危機については、個別監視マニュアルを整備しています。
- 3 健康危機発生時の対応
 - 被害の状況を把握し、被害を受けた方に対する医療提供体制の確保を図っています。
 - 関係機関との連携のもとに、原因究明体制を確保しています。

課 題

- 危機管理体制の整備では、常に組織等の変更留意し、逐次見直し、有事に機能できる体制の整備が必要です。
- 情報の一元化に努める必要があります。
- 新たな新型インフルエンザや感染症の発生及び原因の特定が困難な健康危機事例に備えた医療の提供体制、保健所の体制整備が必要です。
- 複数の原因を想定した対応ができる体制づくりが必要です。

- 健康危機発生状況及び防衛措置等について住民へ速やかに広報できる体制を整備しています。
- 新型インフルエンザ発生時に使用する感染防護具及び外来診療を行う医療機関と地域住民用のマスク、手袋等の備蓄を行っています。

4 事後の対応

- 健康診断、健康相談を実施することとしています。

- 住民や事業者への健康危機管理に関する正しい知識や対応の更なる普及啓発が必要です。

- PTSD 対策を始め、被害者等の心の健康を保つため、身近な地域における相談体制の充実が必要です。

【今後の方策】

- 保健所は平常時には健康危機管理調整会議を年1回開催し、管内関係機関と情報を共有するとともに、健康危機発生の際には、速やかに会議を開催し、適切な対応を決定します。
- 保健所の機能強化を図るため、今後も職員の研修や訓練を実施するなど、人材育成に努めていきます。
- 保健所の広域機動班の機能を強化し、平常時における監視指導を更に充実します。
- 新たな新型インフルエンザや感染症の発生に備え、住民への適切な医療を提供する体制や、保健所等の体制の整備等を進めていきます。
- 原因の特定が困難な健康危機事例にも対応できる体制の整備に努めます。
- 新型インフルエンザに関する正しい知識、発生時の対応を含め、健康危機管理に関する情報の住民や事業者への普及啓発を行います。

別 表

(医療計画に記載されている医療機関名)

愛 知 県

目 次

1 愛知県地域保健医療計画	
(1) 「がん」の体系図に記載されている医療機関名	1
(2) 「脳卒中」の体系図に記載されている医療機関名	4
(3) 「急性心筋梗塞」の体系図に記載されている医療機関名	5
(4) 「救急医療」の体系図に記載されている医療機関名	6
(5) 「精神救急医療」の病院群輪番制当番病院に記載されている医療機関名	11
(6) 「災害医療」の体系図に記載されている医療機関名	12
(7) 「小児救急医療」の体系図に記載されている医療機関名	13
(8) 「周産期医療」の体系図に記載されている医療機関名	14
(9) 「へき地医療」の体系図に記載されている医療機関名	17
(10) 医療法施行規則第1条の14第7項第1号(在宅)に該当する医療機関	18
2 愛知県医療圏保健医療計画	
(1) 海部圏域保健医療計画に記載されている医療機関名	19
(2) 知多半島圏域保健医療計画に記載されている医療機関名	22
(3) 東三河北部圏域保健医療計画に記載されている医療機関名	23

(1) 「がん」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	がん診療連携拠点病院等	連携機能を有する病院	専門的医療を提供する病院				
			胃	大腸	乳腺	肺	子宮
名古屋	県がんセンター中央病院 ☆ 第一赤十字病院※ (国)名古屋医療センター※ 名大附属病院※ 第二赤十字病院※ 名市大病院※ 掖済会病院 社会保険中京病院※ 名古屋記念病院	東市民病院 総合上飯田第一病院 名古屋共立病院 中部労災病院 丸茂病院	県がんセンター中央病院 東市民病院 国共済東海病院 市立城北病院 総合上飯田第一病院 名鉄病院 市立城西病院 第一赤十字病院 名古屋セントラル病院 (国)名古屋医療センター 国共済名城病院 横山胃腸科病院 名大附属病院 第二赤十字病院 名市大病院 協立総合病院 掖済会病院 名古屋共立病院 坂文種報徳會病院 中部労災病院 社会保険中京病院 大同病院 南生協病院 緑市民病院 名古屋記念病院	県がんセンター中央病院 東市民病院 国共済東海病院 名古屋通信病院 市立城北病院 大隈病院 総合上飯田第一病院 市立城西病院 第一赤十字病院 名古屋セントラル病院 (国)名古屋医療センター NTT西日本東海病院 国共済名城病院 横山胃腸科病院 名大附属病院 第二赤十字病院 聖霊病院 名市大病院 協立総合病院 掖済会病院 協立総合病院 掖済会病院 坂文種報徳會病院 名古屋共立病院 坂文種報徳會病院 中部労災病院 社会保険中京病院 名南病院 大同病院 南生協病院 緑市民病院 第一なるみ病院 名古屋記念病院	県がんセンター中央病院 東市民病院 国共済東海病院 名古屋通信病院 市立城北病院 総合上飯田第一病院 名鉄病院 第一赤十字病院 名古屋セントラル病院 (国)名古屋医療センター 国共済名城病院 中日病院 名大附属病院 第二赤十字病院 聖霊病院 名市大病院 協立総合病院 掖済会病院 名古屋共立病院 坂文種報徳會病院 中部労災病院 社会保険中京病院 名南病院 大同病院 南生協病院 緑市民病院 丸茂病院	県がんセンター中央病院 東市民病院 名鉄病院 第一赤十字病院 (国)名古屋医療センター 名大附属病院 第二赤十字病院 名市大病院 掖済会病院 中部労災病院 大同病院 名古屋記念病院	県がんセンター中央病院 第一赤十字病院 名大附属病院 第二赤十字病院 名市大病院 掖済会病院 中部労災病院 社会保険中京病院 南生協病院 名古屋記念病院
海部	厚生連海南病院※		津島市民病院 厚生連海南病院	津島市民病院 厚生連海南病院	津島市民病院 厚生連海南病院	厚生連海南病院	厚生連海南病院
尾張中部			済衆館病院	済衆館病院			
尾張東部	公立陶生病院※ 愛知医大病院 藤田保健衛生大病院※		公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 あさい病院 旭労災病院 藤田保健衛生大学病院 日進おりど病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 愛知医大病院 藤田保健衛生大病院

医療圏	がん診療連携拠点病院等	連携機能を有する病院	専門的医療を提供する病院				
			胃	大腸	乳腺	肺	子宮
尾張西部	一宮市民病院※	山下病院	一宮市民病院 総合大雄会病院 山下病院 一宮西病院 稲沢市民病院 厚生連尾西病院	一宮市民病院 総合大雄会病院 山下病院 一宮西病院 稲沢市民病院 厚生連尾西病院	一宮市民病院 総合大雄会病院 一宮西病院 稲沢市民病院 厚生連尾西病院	一宮市民病院 総合大雄会病院	一宮市民病院 大雄会第一病院
尾張北部	小牧市民病院※	春日井市民病院 厚生連江南厚生病院	春日井市民病院 名古屋徳洲会総合病院 東海記念病院 小牧市民病院 犬山中央病院 厚生連江南厚生病院 さくら総合病院	春日井市民病院 名古屋徳洲会総合病院 東海記念病院 小牧市民病院 犬山中央病院 厚生連江南厚生病院 さくら総合病院	春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連江南厚生病院	春日井市民病院 名古屋徳洲会総合病院 小牧市民病院	春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連江南厚生病院
知多半島	市立半田病院		市立半田病院 厚生連知多厚生病院 常滑市民病院 東海市民病院 国立長寿医療研究センター 知多市民病院	市立半田病院 厚生連知多厚生病院 常滑市民病院 東海市民病院 国立長寿医療研究センター 知多市民病院	市立半田病院 常滑市民病院 東海市民病院 国立長寿医療研究センター 知多市民病院	市立半田病院 国立長寿医療研究センター	市立半田病院
西三河北部	厚生連豊田厚生病院※	トヨタ記念病院	厚生連豊田厚生病院 豊田地域医療センター 中野胃腸病院 トヨタ記念病院	厚生連豊田厚生病院 豊田地域医療センター 中野胃腸病院 トヨタ記念病院 みよし市民病院	厚生連豊田厚生病院 豊田地域医療センター トヨタ記念病院	厚生連豊田厚生病院 トヨタ記念病院	厚生連豊田厚生病院 トヨタ記念病院
西三河南部東		県がんセンター愛知病院 岡崎市民病院	県がんセンター愛知病院 岡崎市民病院	県がんセンター愛知病院 岡崎市民病院	県がんセンター愛知病院 岡崎市民病院	県がんセンター愛知病院 岡崎市民病院	岡崎市民病院
西三河南部西	刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院※	八千代病院	刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院 八千代病院 西尾市民病院	碧南市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院 八千代病院 西尾市民病院 西尾病院	碧南市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院 八千代病院 西尾市民病院	碧南市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院 八千代病院 西尾市民病院	刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院
東三河北部				新城市民病院			
東三河南部	豊橋市民病院※	(国)豊橋医療センター 豊川市民病院	(国)豊橋医療センター 豊橋市民病院 成田記念病院 豊川市民病院 総合青山病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院	(国)豊橋医療センター 豊橋市民病院 成田記念病院 豊川市民病院 総合青山病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院	(国)豊橋医療センター 豊橋市民病院 成田記念病院 豊川市民病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院	豊橋市民病院 豊川市民病院	豊橋市民病院 豊川市民病院

注1:「がん診療連携拠点病院等」において、☆は「県がん診療連携拠点病院」、※は「地域がん診療連携拠点病院」、それ以外は「地域がん診療拠点病院」です。
注2:「連携機能を有する病院」とは、がん診療連携拠点病院以外のがん専門病院をいい、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において5大がん(胃、大腸、乳腺、肺、子宮)の1年間の手術件数が150件以上の病院です。
注3:「専門的医療を提供する病院」とは、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において部位別(5大がん)に年間手術10件以上実施した病院です。

表2-1-1 2次医療圏における現況

医療圏	がん診療連携拠点病院等	連携機能を有する病院の現況 (5つのがんについて年間手術件数が150件以上の病院(がん診療連携拠点病院等を除く))	手術症例の少ない機能								
			口腔	咽頭	甲状腺	食道	胆道	膵臓	卵巣	骨髄移植	
名古屋	県がんセンター中央病院	—	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	
	第一赤十字病院	—	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	(国)名古屋医療センター	—	○	○	○	○	○	◎		○	
	名大附属病院	—	◎	○	◎	◎		◎	◎	◎	
	第二赤十字病院	—	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	○	
	名市大病院	—	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	
	社会保険中京病院	—	○		◎	◎		◎	○	○	
	*掖済会病院		◎		○	◎		○	◎	○	
	*名古屋記念病院				○			○		○	
		東市民病院		○		○	○		○	○	
		総合上飯田第一病院				◎	○		○	○	
		名古屋共立病院				○	○		○		
		中部労災病院				○	○			○	
	丸茂病院				◎						
海部	厚生連海南病院	—	○		◎	○	○	◎	○		
尾張中部											
尾張東部	公立陶生病院	—	○		○	○	○	◎	○		
	藤田保健衛生大病院	—	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	
	*愛知医大病院	—	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	
尾張西部	一宮市民病院		○		◎	○		○	◎	○	
	山下病院					○		◎			
尾張北部	小牧市民病院	—	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	
	春日井市民病院		◎			○	○	◎	◎		
	厚生連江南厚生病院		○		◎	○	○	○	○	◎	
知多半島	*市立半田病院	—	○		○	○		◎	○		
西三河北部	厚生連豊田厚生病院	—	◎		○	○		◎	○		
	トヨタ記念病院		○		◎	○	○	◎	○	○	
西三河南部東	県がんセンター愛知病院					○	○	○			
	岡崎市民病院		◎		◎	○	○	◎	◎	○	
西三河南部西	厚生連安城更生病院	—			◎	◎	○	◎	◎	◎	
	*刈谷豊田総合病院	—	◎	○	◎	◎	○	◎	○		
	八千代病院				○	○	○	○	○		
東三河北部											
東三河南部	豊橋市民病院	—	◎	○	◎	◎	○	◎	◎		
	(国)豊橋医療センター				○		○	○			
	豊川市民病院		◎		◎	○		○	○		

・該当する部位の年間手術件数が1から9件の場合を○、10件以上の場合を◎としています。
 ・*は、がん診療拠点病院(県指定)を表します。

(2)「脳卒中」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	高度救命救急医療機関	脳血管領域における治療病院	回復期リハビリテーション機能を有する医療機関
名古屋	東市民病院 第一赤十字病院 名古屋セントラル病院 (国)名古屋医療センター 名大附属病院 第二赤十字病院 名市大病院 掖済会病院 中部労災病院 社会保険中京病院	国共済東海病院 吉田病院 大隈病院 名鉄病院 国共済名城病院 聖霊病院 協立総合病院 坂文種報徳會病院 南生協病院 第一なるみ病院 名古屋記念病院	加藤病院 上飯田リハビリテーション病院 県済生会病院 鵜飼リハビリテーション病院 NTT西日本東海病院 熱田リハビリテーション病院 善常会リハビリテーション病院 名南ふれあい病院 かなめ病院 川島病院 第一なるみ病院 (国)東名古屋病院 木村病院 メイノウホスピタル
海部	厚生連海南病院	津島市民病院	津島市民病院 津島リハビリテーション病院 厚生連海南病院 偕行会リハビリテーション病院 尾張温泉リハビリかえ病院
尾張中部		済衆館病院	済衆館病院 五条川リハビリテーション病院
尾張東部	公立陶生病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院		あざい病院
尾張西部	一宮市民病院 (総合大雄会病院) (一宮西病院)	厚生連尾西病院	木曾川市民病院 総合大雄会病院 千秋病院 一宮西病院 尾西記念病院
尾張北部	春日井市民病院 (小牧市民病院) (厚生連江南厚生病院)	名古屋徳洲会総合病院 犬山中央病院 さくら総合病院	東海記念病院 白山リハビリテーション病院 あさひ病院 犬山中央病院 佐藤病院 岩倉病院 さくら総合病院
知多半島	(市立半田病院)	小嶋病院 国立長寿医療研究センター 知多厚生病院	知多リハビリテーション病院 杉石病院
西三河北部	トヨタ記念病院 厚生連豊田厚生病院	厚生連足助病院	豊田地域医療センター 三九朗病院
西三河南部東	岡崎市民病院		宇野病院 岡崎共立病院 岡崎東病院 北斗病院
西三河南西	刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院	碧南市民病院 西尾市民病院	小林記念病院 刈谷豊田総合病院 辻村外科病院 八千代病院 秋田病院 あいちリハビリテーション病院
東三河北部		新城市民病院	
東三河南部	豊橋市民病院 豊川市民病院	(国)豊橋医療センター 成田記念病院 総合青山病院 蒲郡市民病院 渥美病院	弥生病院 第二成田記念病院 可知病院 蒲郡厚生館病院

注1:「高度救命救急医療機関」とは、救急対応専門医師数7名以上(7人未満の場合は時間外対応医師(病院全体・当直)が4名以上)かつ脳神経外科医師と神経内科医師の両方が在籍する病院です。(平成22年6月1日現在)脳神経外科、神経内科のどちらかしか在籍しない病院は括弧で表示。

注2:「脳血管領域における治療病院」とは、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において頭蓋内血腫除去術、脳動脈瘤頸部クリッピング(脳動脈瘤被包術、脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭)含む)または脳血管内手術を実施している病院です。

注3:「回復期リハビリテーション機能を有する医療機関」とは、回復期リハビリテーション病棟の届出を行い、脳血管疾患等リハビリテーション料を算定している病院です。(平成22年7月31日現在)

(3)「急性心筋梗塞」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	高度救命救急医療機関	循環器系領域における治療病院	心大血管疾患リハビリテーション実施病院
名古屋	(東市民病院) 名古屋ハートセンター 第一赤十字病院 (国)名古屋医療センター 国共済名城病院 名大附属病院 第二赤十字病院 名市大病院 掖済会病院 名古屋共立病院 中部労災病院 社会保険中京病院 (名古屋記念病院)	市立城北病院 大隈病院 県済生会病院 名鉄病院 名古屋セントラル病院 聖霊病院 協立総合病院 坂文種報徳會病院 大同病院 緑市民病院	(第一赤十字病院) (市立総合リハビリセンター) (掖済会病院) (名古屋共立病院) (大同病院)
海部	厚生連海南病院	津島市民病院	
尾張東部	公立陶生病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	旭労災病院 あざい病院	(公立陶生病院)
尾張西部	一宮市民病院 総合大雄会病院	泰玄会病院 一宮西病院 稲沢市民病院 厚生連尾西病院	総合大雄会病院
尾張北部	春日井市民病院 名古屋徳洲会総合病院 小牧市民病院 (厚生連江南厚生病院)	東海記念病院 犬山中央病院	(小牧市民病院)
知多半島	(市立半田病院)	厚生連知多厚生病院 杉石病院 常滑市民病院 東海市民病院 小嶋病院 国立長寿医療研究センター 知多市民病院	
西三河北部	厚生連豊田厚生病院 トヨタ記念病院	みよし市民病院	(厚生連豊田厚生病院)
西三河南部東	岡崎市民病院		(岡崎市民病院)
西三河南部西	刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院	碧南市民病院 八千代病院 西尾市民病院 西尾病院	(厚生連安城更生病院)
東三河南部	豊橋市民病院 豊橋ハートセンター 豊川市民病院	(国)豊橋医療センター 総合青山病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院	((国)豊橋医療センター) (豊橋市民病院)

注1:「高度救命救急医療機関」とは、救急対応専門医師数7名以上(7人未満の場合は時間外対応医師(病院全体・当直)が4名以上)かつ循環器科医師と心臓血管外科医師の両方が在籍する病院です。(平成22年6月1日現在)
循環器科、心臓血管外科どちらかしか在籍しない病院は括弧で表示。

注2:「循環器系領域における治療病院」とは、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において経皮的冠動脈ステント留置術または経皮的冠動脈形成術(PTCA)を実施している病院です。

注3:「心大血管疾患リハビリテーション実施病院」とは、回復期リハビリテーション病棟の届出を行い、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において心大血管疾患リハビリテーション料を算定している病院です。なお、括弧書きで記載している病院については、、回復期リハビリテーション病棟の届出を行っていないが、心大血管疾患リハビリテーション料を算定している病院です。

(4) 「救急医療」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	広域2次救急医療圏名	初期救急医療体制		第2次救急医療体制			第3次救急医療体制
		休日夜間診療所	在宅当番制	病院群輪番制 参加病院	搬送協力医療機関		
					病 院	有床診療所	
名古屋	名古屋A 千種区 昭和区 守山区 名東区	名古屋市医師会 千種区休日急病診療所 昭和区休日急病診療所 守山区休日急病診療所 名東区休日急病診療所		東市民病院 国共済東海病院 ちくさ病院 吉田病院 和田内科病院 高橋病院 安井病院 聖霊病院 守山市民病院 (国)東名古屋病院 木村病院 メイトウホスピタル すぎやま病院	はちや整形外科 病院 加藤病院 名大附属病院 川島病院	西脇医院	第二赤十字病院
	名古屋B 東区 北区 西区 中区	名古屋市医師会 東区休日急病診療所夜 間・深夜急病センター 北区休日急病診療所 西区休日急病診療所 愛知歯科医療センター 名古屋北歯科医療センター		棚橋病院 市立城北病院 名春中央病院 大隈病院 総合上飯田第一病院 北病院 名鉄病院 米田病院 名城病院 中日病院 成田病院 勝又病院 NTT西日本東海病院	名古屋通信病院 県済生会病院 名古屋ハートセ ンター	大曽根外科 竹中外科 なごや内科整 形産婦人科 桜井医院	(国)名古屋医療センター

医療圏	広域2次救急医療圏名	初期救急医療体制		第2次救急医療体制			第3次救急医療体制
		休日夜間診療所	在宅当番制	病院群輪番制 参加病院	搬送協力医療機関		
					病 院	有床診療所	
	名古屋C 瑞穂区 南区 天白区 緑区	名古屋市医師会 瑞穂区休日急病診療所 南区休日急病診療所・平 日夜間急病センター 緑区休日急病診療所 天白区休日急病診療所 名古屋南歯科医療センター		高木病院 新生会第一病院 大同病院 山口病院 南生協病院 笠寺病院 名南病院 小松病院 北村病院 平岩病院 第一なるみ病院 相生山病院 名古屋記念病院 緑市民病院 西本病院	名市大病院	犬飼胃腸科 陽明寺本クリ ニック 成田外科 宮田胃腸科外 科 おにたけ整形 外科 かがみ整形外 科・外科	社会保険中京病院
	名古屋D 中村区 熱田区 中川区 港区	名古屋市医師会 中村区休日急病診療所 熱田区休日急病診療所 中川区休日急病診療所 港区休日急病診療所		市立城西病院 名古屋セントラル病院 鵜飼病院 大菅病院 篠辺病院 服部病院 熱田リハビリテーション病院 水谷病院 三菱名古屋病院 協立総合病院 坂文種報徳會病院 名古屋共立病院 大平病院 臨港病院 中部労災病院	名古屋西クリニッ ク病院、 佐藤病院 岡田整形外科病 院 南陽病院 東洋病院		第一赤十字病院 掖済会病院

医療圏	広域2次救急医療圏名	初期救急医療体制		第2次救急医療体制			第3次救急医療体制
		休日夜間診療所	在宅当番制	病院群輪番制 参加病院	搬送協力医療機関		
					病 院	有床診療所	
海部	海部津島E 津島市 愛西市 弥富市 あま市 海部郡	津島地区休日急病診療所 海部地区急病診療所 海部地区急病診療所(歯科)	津島市医師会 海部医師会	津島市民病院 厚生連海南病院	あま市民病院	八木外科医院 橘内科クリニック	
尾張東部	尾張東部I 瀬戸市 尾張旭市 豊明市 日進市 愛知郡	日進市休日急病診療所 豊明市休日診療所	瀬戸旭医師会	公立陶生病院	あさい病院 井上病院 旭労災病院 日進おりど病院 愛知国際病院 東名病院	杉上クリニック	藤田保健衛生大病院 愛知医大病院 (高度救命救急センター)
尾張中部	尾張西北部F 清須市 北名古屋市 西春日井郡	西部休日急病診療所 東部休日急病診療所	西名古屋医師会	木曽川市民病院 一宮西病院 稲沢市民病院 厚生連尾西病院	山下病院 いまいせ心療センター 千秋病院 六輪病院	一宮整形外科 野村整形外科 山村外科	一宮市民病院 総合大雄会病院
尾張西部	一宮市 稲沢市	一宮市休日・夜間急病診療所 稲沢市医師会休日診療所 一宮市口腔衛生センター	稲沢市医師会	泰玄会病院 済衆館病院 尾西記念病院			

医療圏	広域2次救急医療圏名	初期救急医療体制		第2次救急医療体制			第3次救急医療体制
		休日夜間診療所	在宅当番制	病院群輪番制 参加病院	搬送協力医療機関		
					病 院	有床診療所	
尾張北部	尾張北部G 犬山市 江南市 岩倉市 丹羽郡	犬山市休日急病診療所 江南市休日急病診療所 岩倉市休日急病診療所 江南市休日急病診療所(歯)	尾北医師会	厚生連江南厚生病院 犬山中央病院 さくら総合病院	岩倉病院	山田外科・内科 ハートクリニックさわだ	小牧市民病院
	春日井小牧H 春日井市 小牧市	春日井市休日・夜間急病診療所 春日井市休日・夜間急病診療所(歯科) 小牧市休日急病診療所 小牧市休日急病診療所(歯科)	春日井市医師会 小牧市医師会	春日井市民病院 小牧第一病院	名古屋徳洲会総合病院 東海記念病院 かちがわ北病院	竹村整形外科クリニック 渡辺整形外科 辻医院 江崎外科内科	
知多半島	知多J 半田市 常滑市 東海市 大府市 知多市 知多郡	知多市休日診療所 半田歯科医療センター	半田市医師会 東海市医師会 知多郡医師会 常滑市医師会	常滑市民病院 東海市民病院 厚生連知多厚生病院 小嶋病院 杉石病院 石川病院 知多市民病院 渡辺病院	国立長寿医療研究センター 県あいち小児医療センター 順和病院 平病院	浅井外科 中野整形外科 竹内整形外科・内科クリニック	市立半田病院
西三河北部	豊田加茂M 豊田市 みよし市	豊田加茂医師会休日救急内科診療所 財団法人豊田地域医療センター(歯科)	豊田加茂医師会	厚生連足助病院 豊田地域医療センター みよし市民病院 トヨタ記念病院	菊池病院 吉田整形外科病院 斉藤病院 寿光会中央病院	小早川整形外科 細野クリニック	厚生連豊田厚生病院

医療圏	広域2次救急医療圏名	初期救急医療体制		第2次救急医療体制			第3次救急医療体制
		休日夜間診療所	在宅当番制	病院群輪番制 参加病院	搬送協力医療機関		
					病 院	有床診療所	
西三河南部東	岡崎額田L	岡崎市医師会公衆衛生センター 夜間急病診療所 岡崎歯科総合センター	岡崎市医師会	県がんセンター愛知病院 宇野病院 岡崎南病院	北斗病院 岡崎三田病院		岡崎市民病院
西三河南部西	衣浦東部K 碧南市 刈谷市 安城市 西尾市 知立市 高浜市 幡豆郡	碧南市休日診療所 刈谷医師会休日診療所 安城市休日夜間急病診療 西尾幡豆休日診療所 碧南市休日歯科診療所 安城市休日夜間急病診療所(歯科) 西尾幡豆休日診療所(歯科)	碧南市医師会 刈谷医師会 西尾幡豆医師会	西尾市民病院 八千代病院 刈谷豊田総合病院 碧南市民病院	新川中央病院 加藤病院 小林記念病院 辻村外科病院 秋田病院 富士病院 西尾病院 山尾病院 高須病院		厚生連安城更生病院
東三河北部	東三河山間O 新城市 北設楽郡	新城休日診療所 新城市夜間診療所 新城休日診療所(歯科)	新城医師会	新城市民病院 東栄病院	茶臼山厚生病院 星野病院		
東三河南部	東三河平坦N 豊橋市 豊川市 蒲郡市 田原市	豊橋市休日夜間急病診療所 豊川市休日夜間急病診療所 蒲郡市休日急病診療所 豊橋市歯科医師会休日夜間歯科診療所 豊川歯科医療センター 蒲郡市休日歯科・障がい者歯科診療所	豊橋市医師会 豊川市医師会 蒲郡市医師会 田原市医師会	(国)豊橋医療センター 豊川市民病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院 光生会病院 成田記念病院 弥生病院 総合青山病院 豊橋ハートセンター	江崎病院 二川病院 長屋病院 後藤病院 樋口病院 宮地病院 蒲郡厚生館病院 磯病院	大島整形外科 クリニック 権田脳神経外科	豊橋市民病院

平成23年12月1日現在

(5) 「精神救急医療」の病院群輪番制当番病院に記載されている医療機関名

ブロック名	医療機関名
尾張Aブロック	杉田病院 楠メンタルホスピタル 北林病院 (国)東尾張病院☆ 守山荘病院 紘仁病院☆ 七宝病院 好生館病院 いまいせ心療センター いまむら病院 上林記念病院 北津島病院 東春病院 あさひが丘ホスピタル 犬山病院 布袋病院
尾張Bブロック	精治寮病院 松蔭病院☆ あいせい紀年病院 笠寺精治寮病院 八事病院☆ 桶狭間病院 藤田こころケアセンター☆ 豊明栄病院 和合病院 一ノ草病院 大府病院 南知多病院 共和病院
三河地域ブロック	衣ヶ原病院 豊田西病院 仁大病院 南豊田病院 刈谷病院☆ 矢作川病院 三河病院 羽栗病院 京ヶ峰岡田病院☆ 松崎病院 可知病院 岩屋病院 豊川市民病院

☆は応急入院指定病院です。

精神科救急医療体制は、県内を3つの地域に分け、各地域を単位として実施

尾張A	名古屋市(千種区、東区、北区、西区、中村区、中区、守山区、名東区、)一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、愛知郡(長久手町)、西春日井郡、丹羽郡、海部郡
尾張B	名古屋市(昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、緑区、天白区、)半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、豊明市、日進市、愛知郡(東郷町)、知多郡
三河	豊橋市、岡崎市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、新城市、知立市、高浜市、田原市、みよし市、幡豆郡、額田郡、北設楽郡

平成22年10月1日現在

(6) 「災害医療」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	医療機関名
名古屋	第二赤十字病院
	名大附属病院
	東市民病院
	(国)名古屋医療センター
	社会保険中京病院
	名市大病院
	名古屋記念病院
	第一赤十字病院
	掖済会病院
	中部労災病院
	海部
津島市民病院	
尾張東部	公立陶生病院
	藤田保健衛生大病院
	愛知医大病院
尾張西部	一宮市民病院
	総合大雄会病院
	厚生連尾西病院
尾張北部	春日井市民病院
	小牧市民病院
	厚生連江南厚生病院
知多半島	市立半田病院
	厚生連 知多厚生病院
西三河北部	厚生連 豊田厚生病院
	トヨタ記念病院
西三河南部東	岡崎市民病院
	西尾市民病院
西三河南部西	厚生連 安城更生病院
	刈谷豊田総合病院
東三河北部	新城市民病院
東三河南部	豊橋市民病院
	(国)豊橋医療センター
	豊川市民病院

平成22年10月1日現在

(7) 「小児救急医療」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	第1次救急医療体制	小児救急医療支援事業参加病院
名古屋	市医師会休日急病診療所夜間・深夜急病センター	東市民病院 市立城北病院 名鉄病院 第一赤十字病院 (国)名古屋医療センター 名城病院 第二赤十字病院 協立総合病院 掖済会病院 坂文種報徳會病院 中部労災病院 社会保険中京病院 大同病院 名古屋記念病院 (名古屋市では小児救急医療支援事業を「小児救急ネットワーク758」として運用)
海部		
尾張中部		
尾張東部		
尾張西部		
尾張北部	厚生連江南厚生病院 (医師会会員による休日診療)	
知多半島	市立半田病院 (医師会会員による平日夜間診療)	
西三河北部		厚生連豊田厚生病院 トヨタ記念病院
西三河南部東	岡崎市医師会公衆衛生センター・夜間急病診療所	
西三河南部西		
東三河北部		
東三河南部	豊橋市休日夜間急病診療所	

注: 第1次救急医療体制に記載されている医療機関名は、時間外において小児科医が対応する医療機関
これ以外の医療機関については「救急医療」をご覧ください。

平成22年10月1日現在

(8)「周産期医療」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	周産期母子医療センター	分娩を実施している医療機関		健診のみを実施している医療機関	
		病院	診療所	病院	診療所
名古屋	市立城北病院 第一赤十字病院 第二赤十字病院	東市民病院 星ヶ丘マタニティ病院 名古屋通信病院 市立城北病院 総合上飯田第一病院 名鉄病院 市立城西病院 第一赤十字病院 岩田病院 (国)名古屋医療センター 国共済名城病院 成田病院 可世木病院 名大附属病院 第二赤十字病院 聖霊病院 名市大病院 協立総合病院 掖済会病院 坂文種報徳會病院 大平病院 中部労災病院 社会保険中京病院 大同病院 南生協病院 緑市民病院 名古屋記念病院	上野産婦人科 レディースクリニック山原 かとうレディースクリニック なごや内科整形産婦人科 産科婦人科上野レディースクリニック 平竹クリニック 川合産婦人科 山田シテイクリニック 加納産婦人科 産婦人科柴田クリニック ごきそレディースクリニック あさもとクリニック産婦人科 加藤外科・産婦人科 藤村レディスこどもクリニック 産婦人科 水野クリニック 野崎クリニック 千音寺産婦人科 まのレディースクリニック 桑山産婦人科・眼科 伊藤産婦人科 アイレディースクリニック たてレディースクリニック やまだレディースクリニック 中根産婦人科 徳重ウイメンズケアクリニック 石井産婦人科 藤ヶ丘レディースクリニック 奈倉レディースクリニック 清水産婦人科 イルマーレディースクリニック こまいレディースクリニック	NTT西日本東海病院 守山市民病院	きくざかクリニック 咲江レディスクリニック 青木産婦人科クリニック おくむらレディスクリニック 育成レディースクリニック 平田レディースクリニック 山田医院 三輪レディースクリニック 竹内産婦人科医院 こぎき女性クリニック 横井医院 レディスクリニックセントソフィア 堀産婦人科 かなくらレディスクリニック レディースクリニックミュウ かとうのりこレディースクリニック 栄産婦人科 飯田レディースクリニック いくたウィメンズクリニック まさはしレディスクリニック 余語女性と子どものクリニック ピュアー女性クリニック 金山レディースクリニック 山口レディスクリニック だいどうクリニック なるかわレディースクリニック 阪井クリニック 日光レディスクリニック 若葉台クリニック 安井みえレディースクリニック 八事レディースクリニック 産科婦人科 種村ウィメンズクリニック おばた産婦人科クリニック
海部	厚生連海南病院	津島市民病院 厚生連海南病院	真野産婦人科 貴子ウィメンズクリニック 大橋産婦人科クリニック	あま市民病院	産婦人科佐屋クリニック 富田レディースクリニック 久保田産婦人科 中川医院

医療圏	周産期母子医療センター	分娩を実施している医療機関		健診のみを実施している医療機関	
		病院	診療所	病院	診療所
尾張中部			小林産婦人科		師勝産婦人科
尾張東部	公立陶生病院	公立陶生病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	中原クリニック クリニックベル 浅野産婦人科 松下レディースクリニック いしかわレディースクリニック 伊藤ウィメンズクリニック 図書館通おかもとマタニティクリニック 寺島レディースクリニック レディースクリニックアンジュ かじうらレディースクリニック※ にわクリニック	旭労災病院 日進おりど病院	青山クリニック 前原クリニック・前原デンタルクリニック そのこレディースクリニック 徹来レディースクリニック ともまつレディースクリニック あいちクリニック
尾張西部	一宮市民病院	一宮市民病院 大雄会第一病院 厚生連尾西病院 一宮西病院	つかはらレディースクリニック 足立産婦人科 加藤レディースクリニック 後藤マタニティクリニック 産婦人科はっとりクリニック 三輪産婦人科小児科※ セブンベルクリニック※		金子産婦人科 田中クリニック てしがわらレディースクリニック 可世木レディースクリニック
尾張北部	小牧市民病院 厚生連江南厚生病院	春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連江南厚生病院 犬山中央病院	産科・婦人科七原 森永産婦人科 神領マタニティ かすがいマタニティクリニック※ ミナミ産婦人科 みわレディースクリニック エンゼルレディースクリニック マザークリニックハピネス やまだ産婦人科 おおわきレディースクリニック 大野レディースクリニック	名古屋徳洲会総合病院	山田産婦人科 米本レディースクリニック 桃花台レディースクリニック 竹内クリニック 坂下クリニック 松川マタニティクリニック 大脇産婦人科 若山産婦人科医院
知多半島	市立半田病院	市立半田病院 藤田病院 厚生連知多厚生病院 常滑市民病院 東海市民病院	ふたばクリニック 広渡レディースクリニック 広川レディースクリニック 産院いしがせの森 友田クリニック 原田レディースクリニック	知多市民病院	山田医院 東海医院 野畑医院 森川医院 茶谷産婦人科
西三河北部	トヨタ記念病院	厚生連豊田厚生病院 トヨタ記念病院 鈴木病院	あかね医院 内田クリニック 鈴木産婦人科 グリーンベルクリニック たなかマタニティクリニック 花レディースクリニック	竹内病院	ウェルスプリングウィメンズクリニック

医療圏	周産期母子医療センター	分娩を実施している医療機関		健診のみを実施している医療機関	
		病院	診療所	病院	診療所
西三河南部東	岡崎市民病院	岡崎市民病院	山中産婦人科 田那村産婦人科 吉村医院 たかレディースクリニック レディースクリニックANDO産科婦人科 おおはらマタニティクリニック エンジェルベルクリニック※ 幸田産婦人科		加藤産婦人科 三ヶ根クリニック せきやクリニック
西三河南部西	厚生連安城更生病院	碧南市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連安城更生病院 堀尾安城病院 八千代病院 西尾市民病院	岡村産科婦人科 ジュンレディースクリニック刈谷 G&Oレディースクリニック セントレディースクリニック 山田産婦人科	山尾病院	竹内産婦人科 鈴木産婦人科 高浜愛レディースクリニック 篠原産婦人科医院 稲垣レディースクリニック
東三河北部				新城市民病院	荻野医院
東三河南部	豊橋市民病院	豊橋市民病院 豊川市民病院 蒲郡市民病院 厚生連渥美病院	原医院 今泉産婦人科医院 中岡レディースクリニック ジュンレディースクリニック豊橋 マミーローズクリニック 小石マタニティ&チルドレンクリニック 渡辺マタニティクリニック 杉浦クリニック	(国)豊橋医療センター 光生会病院	端山産婦人科 秋山産婦人科 産科・婦人科ひらでかおるクリニック 竹内産婦人科 日比産婦人科 マキノレディースクリニック 飛田医院 今泉医院 サトウ産婦人科

注:※は医療法施行規則第1条の14第7項第3号(周産期)に該当する医療機関

平成22年6月1日現在

上記以外に医療法施行規則第1条の14第7項第3号(周産期)に該当する医療機関として以下の医療機関がある。

福井産婦人科医院(尾張北部)(平成22年9月開設)

ロイヤルベルクリニック(名古屋)(平成22年12月開設)

平針北クリニック(尾張東部)(平成23年1月開設)

(9) 「へき地医療」の体系図に記載されている医療機関名

医療圏	へき地診療所	へき地医療拠点病院
知多半島	知多厚生病院附属篠島診療所	厚生連知多厚生病院
西三河北部	豊田市立乙ヶ林診療所	厚生連足助病院
西三河南部東	岡崎市額田北部診療所 岡崎市額田宮崎診療所	県がんセンター愛知病院
西三河南部西	一色町佐久島診療所	
東三河北部	新城市作手診療所 設楽町立つぐ診療所 豊根村診療所 富山診療所	新城市民病院 東栄病院
東三河南部		豊橋市民病院 豊川市民病院

平成22年10月1日現在

(10) 医療法施行規則第1条の14第7項第1号(在宅)に該当する医療機関

医療圏	医療機関名
名古屋	としわ会診療センターレクリニック
尾張北部	平松内科呼吸器内科 小牧ぜんそく睡眠リハビリクリニック

平成22年10月1日現在

(1) 海部医療圏保健医療計画

ア 「脳卒中」の体系図に記載されている施設

訪問看護ステーション
津島市訪問看護ステーション
海南訪問看護ステーション
訪問看護ステーション本庄会
訪問看護ステーション AN
海南蟹江訪問看護ステーション
あおば会訪問看護ステーション

イ リハビリテーション科を標榜している診療所（38施設）

<p>【津島市】 ジュンクリニック 坪内医院 後藤整形外科 奥村クリニック はせ川外科 神守診療所 彦坂外科</p> <p>【愛西市】 おづクリニック 角鹿医院 加賀医院</p>	石塚外科整形外科 くわはら内科胃腸科 こじま整形外科クリニック マコト整形外科 橘内科クリニック 後藤クリニック <p>【弥富市】 杉本クリニック なかむらクリニック 服部整形外科皮ふ科 そぶえ整形外科 小笠原クリニック</p>	たなか整形外科・リウマチクリニック 笹医院 <p>【あま市】 浅井外科 水野内科 小西整形外科 岩間クリニック 小野クリニック 小林クリニック もりや整形外科</p>	わたり整形外科 <p>【大治町】 中原クリニック 三木医院 奥村整形外科・リウマチ科クリニック 中川医院</p> <p>【蟹江町】 いそベクリニック 渡辺整形外科医院 ふなとクリニック</p>
---	--	---	--

ウ 整形外科を標榜している診療所（23施設）

<p>【津島市】 八木外科医院 はせ川外科 後藤整形外科</p> <p>【愛西市】 後藤クリニック マコト整形外科 彰和会おづクリニック こじま整形外科クリニック 石塚外科整形外科</p>	<p>【弥富市】 村瀬医院 そぶえ整形外科 服部整形外科皮膚科 たなか整形外科・リウマチクリニック</p> <p>【あま市】 吉岡外科 浅井外科 小西整形外科 宮地クリニック もりや整形外科</p>	<p>わたり整形外科</p> <p>【大治町】 三木医院 中原クリニック 奥村整形外科・リウマチ科クリニック</p> <p>【蟹江町】 渡辺整形外科医院 ふなとクリニック</p>
--	---	---

エ 循環器内科を標榜している診療所（30施設）

<p>【津島市】 くろかわ内科クリニック 杉山クリニック 彦坂外科 服部医院 クリニックつしま</p> <p>【愛西市】 あすかクリニック愛西 服部内科診療所 後藤クリニック</p>	<p>橘内科クリニック とみたハートクリニック 井口内科クリニック 横井クリニック</p> <p>【弥富市】 野村胃腸科 笹医院 ハート内科クリニック</p>	<p>【あま市】 角田内科医院 近藤内科クリニック あすかクリニック 吉岡外科 しげやす内科クリニック 岩間クリニック 望月内科 近藤療院六町クリニック</p>	<p>マスブン医院 原クリニック 安藤クリニック 杉村医院</p> <p>【蟹江町】 前田内科 山本医院 循環器科・内科すずきクリニック</p>
---	--	---	---

オ 「小児医療」の体系図に記載されている医療機関名

(ア) 小児科を標榜している病院

<p>津島市民病院（2次救急） あま市民病院 厚生連海南病院（2次救急） 安藤病院</p>

(イ) 小児科を標榜している診療所

<p>【津島市】 17施設 服部医院 坪内医院 杉山クリニック ワシノ医院 田中こどもクリニック サトウ胃腸クリニック 津島地区休日急病診療所 篠田内科 井田医院 内科・消化器科・小児科平野医院 すぎのクリニック 岡田医院 池村皮フ科 海部地区急病診療所 加藤医院 くろかわ内科クリニック たご耳鼻咽喉科</p>	<p>【愛西市】 16施設 愛西市国民健康保険八開診療所 加藤クリニック みわ皮フ科 大鹿医院分院 倉下内科 服部内科診療所 まえだこどもクリニック 山田内科医院 谷本医院 くわはら内科胃腸科 橋内科クリニック 加賀医院 井口内科クリニック 横井クリニック 角鹿医院 産婦人科佐屋クリニック</p>	<p>【弥富市】 9施設 ハート内科クリニック 篠田医院 渡辺医院 笹医院 なかむらクリニック 小林医院 野村胃腸科 小笠原クリニック すずきこどもクリニック 【あま市】 20施設 村上医院 加藤医院 後藤医院 水野内科 栄生堂医院 近藤内科クリニック 望月内科 おち耳鼻咽喉科 はだめ皮ふ科 フジノ内科 しげやす内科クリニック 伊東医院</p>	<p>近藤療院六町クリニック 杉村医院 安藤クリニック 加藤医院 マスブン医院 長谷川医院 原クリニック たなか耳鼻咽喉科クリニック</p>	<p>【大治町】 7施設 三木医院 まつうらこども診療所 とうない耳鼻咽喉科 中川医院 安藤医院 はら医院 こうのう内科 【蟹江町】 9施設 前田内科 久保田産婦人科 増田医院 ふなとクリニック 回生堂クリニック 山本医院 かとうクリニック みなと医療生活協同組合 かにえ診療所 ワシノ医院蟹江分院 【飛島村】 2施設 太田医院 加藤胃腸科内科とびしまこどもクリニック</p>
--	--	---	---	--

(ウ) 小児科専門医がいる医療機関

病院	診療所
津島市民病院	田中こどもクリニック (津島市)
あま市民病院	谷本医院 (愛西市)
厚生連海南病院	まえだこどもクリニック (愛西市)
	すずきこどもクリニック (弥富市)
	安藤医院 (大治町)
	増田医院 (蟹江町)
	加藤胃腸科内科とびしまこどもクリニック (飛島村)

(2) 知多半島医療圏保健医療計画に記載されている医療機関名

ア 「がん対策」の医療連携体系図に記載されている医療機関

禁煙サポート薬局	麻薬取扱のある薬局
半田保健所管内に16薬局	半田保健所管内に67薬局
知多保健所管内に15薬局	知多保健所管内に53薬局

注: 禁煙サポート薬局は平成22年10月1日現在、麻薬取扱のある薬局は平成22年3月31日現在の薬局数です。

イ 「脳卒中対策」の医療連携体系図に記載されている医療機関

回復期リハビリテーション機能を有する医療機関	
知多リハビリテーション病院	(東海市民病院)
杉石病院	(東海市民病院分院)
(市立半田病院)	(小嶋病院)
(厚生連知多厚生病院)	(国立長寿医療研究センター)
(渡辺病院)	(知多市民病院)
(常滑市民病院)	

注1: 「回復期リハビリテーション機能を有する医療機関」は、回復期リハビリテーション病棟の届出を行い、愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において脳血管疾患等リハビリテーション料を算定している病院です。なお、括弧書きで記載している病院は、回復期リハビリテーション病棟の届出を行っていないが、脳血管疾患等リハビリテーション料を算定している病院です。

注2: 脳卒中クリティカルパスを導入している病院は、平成21年医療実態調査によると、市立半田病院、知多リハビリテーション病院、渡辺病院、杉石病院、石川病院、国立長寿医療研究センターです。

ウ 「急性心筋梗塞対策」の医療連携体系図に記載されている医療機関

回復期病院	
東海市民病院	国立長寿医療研究センター
小嶋病院	知多市民病院

注: 愛知県医療機能情報公表システム(平成22年度調査)において、循環器科を標榜し、循環器専門医がいる病院です。

エ 「小児医療対策」の医療連携体系図に記載されている医療機関

小児科を標榜している病院	
市立半田病院	常滑市民病院
藤田病院	東海市民病院
厚生連知多厚生病院	小嶋病院
渡辺病院	県あいち小児医療センター
杉石病院	知多市民病院
石川病院	平病院

注: 平成22年10月1日現在

オ 「離島保健医療対策」の医療連携体系図に記載されている医療機関

へき地診療所	へき地医療拠点病院
厚生連知多厚生病院附属篠島診療所	厚生連知多厚生病院

注1: 平成22年10月1日現在

注2: 日間賀島には、個人開設の一般診療所が1か所あります。

(3) 東三河北部医療圏保健医療計画に記載されている医療機関名

ア「がん対策」に記載されている医療施設名一覧

医療用麻薬によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア	緩和的放射線療法
新城市民病院	新城市民病院	新城市民病院
今泉病院		
星野病院		
東栄病院		
むらまつ内科		
内山医院		
のだクリニック		

イ「循環器医療対策（脳卒中）」に記載されている医療施設名一覧

脳血管疾患等リハビリテーション	訪問看護ステーション	在宅療養支援診療所
新城市民病院	新城市訪問看護ステーションしんしろ	新城市作手診療所
今泉病院	明峰指定訪問看護ステーション	東栄病院附属下川診療所
東栄病院		ひらい診療所

ウ「小児医療対策」に記載されている医療施設名一覧

小児科を標榜している医療機関		
新城市民病院	織田医院	おさだファミリークリニック
茶臼山厚生病院	ほうらいクリニック	設楽町つぐ診療所
星野病院	富岡診療所	しんしろフィットクリニック
東栄町国民健康保険東栄病院	ちさと医院	静巖堂医院
むらまつ内科	新城市作手診療所	伊藤内科
高木内科医院	くまがい医院	東栄病院附属下川診療所
西新町内科整形外科外科医院	ながしのクリニック	のだクリニック
医療法人愛鳳会 荻野医院	緑が丘診療所	